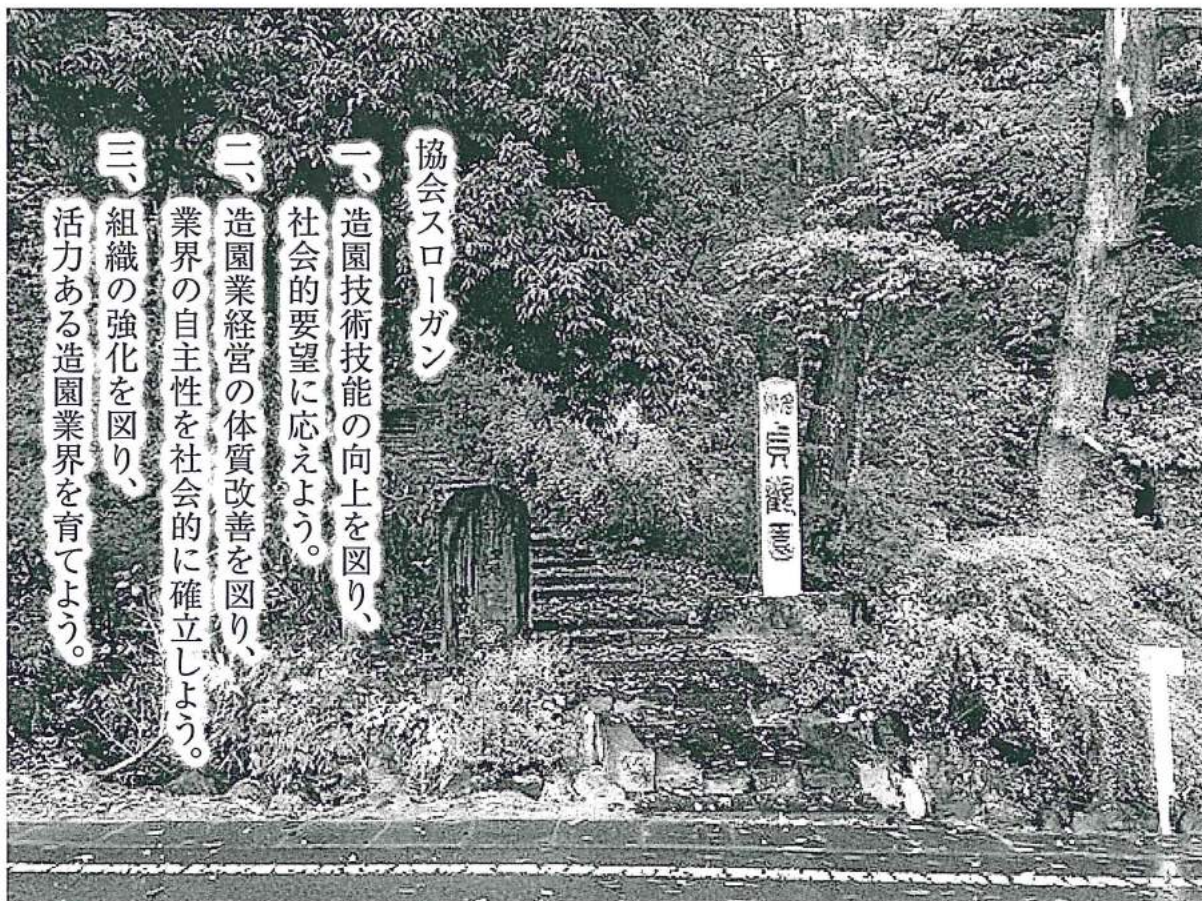


県造園協だより

2016年

第 71 号

平成二十八年十二月二十日発行



- 協会スローガン
- 一、造園技術技能の向上を図り、社会的要望に応えよう。
 - 二、造園業経営の体質改善を図り、業界の自主性を社会的に確立しよう。
 - 三、組織の強化を図り、活力ある造園業界を育てよう。



編集人 新潟県造園建設業協会

目次

一、新任のご挨拶	2
二、退任のご挨拶	2
三、三部会事業活動報告	5
四、支部活動報告	10
五、技能検定	12
六、事務局長 あいさつ	14
七、おしらせ	14
八、編集後記	14

新任のご挨拶

会長 伊藤春男



新保前会長
の後、新年度
より会長を引
き継がせて頂
きました。

会長として何が出来るのかと考
えますと、なかなか良い考えが浮かび
ません。まず評議員の皆さんと諮っ
て、会員の皆さんが各事業に参加し
やすい方向に持っていかなければな
らないと思っております。

現在どの団体でも会員減少に悩ん
どおり、造園業界も同様です。

ただ技能検定を見ていると、新
潟県は若い人材が多いと思います。若
い人が入ってこなければ発展はありま
せん。若い人が生き生きと造園の業
界で活躍するためには、研修会等に
後継者だけではなく、従業員も積極
的に参加して、技術の向上や情報の
交換など、横の繋がりを拡大し、業
界全体がレベルアップしていかけれ
ば造園業の発展はないと思います。

私の若い時代は、全国の同世代の
仲間たちと約十年間毎月集まり、
「庭」について語り合い、技術の研鑽

をしました。その時の財産で今仕事
が出来ているのだと思います。

近頃は、私の会社でも「庭」とい
うとガーデニング風の庭の注文が多
いのが現状です。デザインと共に材
料の変化や、建築、左官の技術も必
要として大変な事もありますが、時
代の流れとして取り組まなければな
らないと思います。ガーデニングで
も日本庭園の技術を、石積みやアプ
ローチで充分発揮出来ます。

近年、私は海外でも庭園を造って
います。和食が海外でブームになり、
日本料理が世界文化遺産となってい
ます。そして、日本庭園も北米やヨー
ロッパで多く造られています。和食
の文化とともに、日本庭園のある料
理店を増やし、日本庭園を「世界文
化遺産」に!! そんな夢を庭に携わ
る人達といっしょに実現出来たら
いいと思います。

若い人たちが技術を磨いて、日本
でも海外でも頑張る姿を沢山見られ
るよう、お手伝いしたい、そう思っ
た事を記して会長就任の挨拶としま
す。

退任のご挨拶

前会長 新保正文



会長退任に
当たり——
平成二十八
年二月十二日
に行われまし

た第四十三回通常総会におきまして
会長職を上越支部の(株)英香園・伊藤
春男氏に引き継いでいただきました。
皆様にお礼を申し上げます。

つきましては、これまで経験した
事についてここに書き留めてみます。

大橋元会長から引き継ぎ四期八年
の間、協会運営に努めてまいりまし
たが、なかなか従前の事業の継承ば
かりで、会員の皆様には適切な事業
の推進がなされてこなかったと、反
省しています。

新潟県造園建設業協会は、会員の
親睦と技術、技能の向上及び継承を
目的としています。私自身にしてみれ
ば、多くの会員の皆様とお会いして、
お話ができた経験は、大変有意義で
大切な財産となっています。また総会
の講演会では、造園に関するお話の

他、様々な業界のお話を聞く機会を
得、その内容が自身の仕事に役立つ事
も多々ありました。そして、皆様との
会話や、会員の方々が作った庭園を見
学する機会に恵まれ、その他多くの
優れた作品に触れた事が自身の造園
に関する知識を豊富にさせていただきました。

私が、魚沼支部評議員として協会
の運営に携わったのが、今から十八
年前の平成十年二月の総会からでし
た。そのときから総務部一筋で、最
初の年から一期二年間は副部長とし
て「県造園協だより」を担当しまし
た。特に二十五周年記念式典を長岡
市で行った時の二十五周年記念誌は、
評議員はもとより、多くの会員の方々
から記事を寄せていただく事で何と
か無事会員の皆様にお届けできまし
たが、評議員になったばかりの私に
は、大変荷の重い仕事になりました。
次の一期二年間は、総務部長、次
の三期六年間は総務部担当の副会長
として、当時の大橋会長を支える一
人として協会の運営に携わってま
いりました。十八年前の会員数が
一六二社だった事をよく覚えていま



す。二十七年度末でその数が一〇四社になりました。十八年間で四十八社の会員が退会された事になります。主な退会理由は、廃業ではないかと考えています。私には子どもが二人いますが二人とも女で、長女は畑違いの銀行に就職しました。次女はこれも畑違いの工学系の大学に進学しています。自身の会社の継続も今後どうなるのかと不安が続いています。

また、平成二十五年三月には、私の不注意から、四か月もの間入院する大怪我を負ってしまいました。多くの会員の皆様から励ましの言葉やお見舞いをいただき治療に専念しま

した。幸い完治とまではいきませんが、ほぼ治る事が出来ました。この間、副会長、評議員、事務局には大変なご迷惑をおかけし、協会運営の代行をしていただきました。この時期に第五十二回全国植樹祭の準備期間と重なってしまいました。全国植樹祭は、長岡市で記念式典とお手植えが行われ、小千谷市、魚沼市、十日町市の中越大地震の被災地を会場とし、平成二十六年六月一日に天皇皇后陛下のご臨席を賜り挙行されました。当協会は、お手植え会場の会場整備の一部とサテライト会場のブースを担当し、長岡支部のご協力のもと、植樹祭来場者のおもてなしをさせていただきました。全国植樹祭では、私が会長になった八年前の秋田大会と四年前の山口大会と一年前の石川大会に参加させていただきました。三年前に行われた鳥取大会には、怪我をした私の代わりに笠原副会長から参加していただきました。新潟大会の行われた前日の平成二十六年五月三十一日のホテルニューオータニ長岡を会場とした天皇主催レセプションに参加する機会をいただけたのは大変な榮譽と思っています。

平成二十年に始まりました旧斉藤

家夏の別邸を保存する会では、発起人の一人として参加させていただきました。新潟市の中心市街地にあります旧斉藤家夏の別邸は、大正三年から同六年にかけて作られました。

これを加賀田組社長が半世紀にわたリ持ち続けた建物と庭園で、東京の庭師・松本幾次郎、亀吉兄弟の作だと言われています。作庭当時の形は基本的に変化してないと思います。が、樹木の生長と加賀田組の社長が持ち込んだ灯籠などが当時との違いだと思っています。これだけの建物と庭園が今に残されている事は大変な価値のある事だと思います。保存する会の活動に当協会の多くの会員の方々からご協力していただきました。今は故人となりました、当時の副会長・内藤さんが主体となり、庭園の清掃、整備を行って、第一回から第三回にわたる一般公開の開催ができた事も大切な思い出となっています。今は、新潟市の所有となり、指定管理者の元で一般公開されています。私が以前勤めていました、東京の杉並区にあります昭和造園の当時の社長・前田正宗さんを総会の講演にお招きした時に、この旧斉藤家夏の別邸を一緒に見学できた事、ま

た、千葉大学園芸学部造園学科の同級生・菅博嗣氏を総会の講師としてお招きした時にも同庭園を見学できた事も大切な思い出となりました。

技能五輪競技会が新潟市の産業振興会館を会場に行われた時には、大橋会長と指導部が中心となり、会場の設営と、運営が行われた事、その二年前には福島会場、一年前の熊本会場へ行き、新潟から参加した選手の応援と熊本城、水前寺成就園を訪れました。また三年前の長野県諏訪市で行われた競技会に英香園の二人が参加し、世界大会を目指した時には、十名程度の応援団の一人として行きました。英香園の二人は残念ながら銀賞で世界大会へ行くことはできませんでしたが、その作品は、金賞の長野県から参加した男女のペアの作品に見劣りしないものでした。昨年東京の木場公園で行われた競技会にも英香園の選手が参加し、笠原指導部担当副会長が会場に行きました。新潟会場では、天候に恵まれません、雨天の中の競技会となつてしまい、指導部の皆様が大変なご苦労をされました。その時は大橋会長、長谷川副会長と一緒に「技のにぎわいフェスタ」を担当し、来場者の応

対をしました。その時に始まった「技のにぎわいフェスタ」は、毎年、新潟市、長岡市、上越市を持ち回り会場となり開催されています。昨年は上越リージョンプラザを会場に、今年はアオーレ長岡を会場に開催されました。その都度新潟支部、長岡支部、上越支部の会員の方々に協力していただき、今は男結びの講習会、竹とんぼの制作体験、花籠作りの制作体験を行い、毎回小学生を中心とした二〇〇人位の方々から体験していただいています。

技能検定では、指導部と保内造園組合が協議会を作り、一級と二級の技能検定を新潟県職業能力開発の指導の元で開催しています。昨年から、三級の検定も行っています。一、二級の判断等試験（要素）の時に会場で受験者の方々に一言励ましの言葉をかけて参りましたが、これから益々技能検定の資格が重視され、現場に一級技能士の常駐制度が国の工事から始まり、県、市町村へと広がっている現在、技能士資格を取得する意義が高まっています。私自身施工管理技士の一級資格は持っていませんが、技能検定資格は持っていませんでした。今年一級技能検定を受験す

るつもりでいます。暑い中の受験になり、体力的な問題を抱えています。合格に向け練習を重ねていきたくと考えています。

新潟県技能士会の監事としての当てる職があります。伊藤さんに全ての当てる職をお願いする事には大変な努力をかける事になります。次期会長を伊藤さんをお願いに行つた時に、同席していただいた上越地区出身の平山元副会長と岩崎前副会長とともに、評議員のサポートを条件に次期会長職をお願いした経緯で、今は笠原副会長から、技能士会監事を引き継いでいただきました。技能士会の総会では、他業種の方々とお会いしお話をする機会となり、これも良い経験となりました。職業能力協会の総会にも参加する機会をいただき、技能士会とは多少ですが違った業界の方々とお話をする機会となりました。

総務部担当の総会、研修視察では、大勢の講師の方々のお話を聞く機会を得ましたし、研修視察では十八年前の東京の庭研修、アメリカのポーランド、カナダのバンクーバー、田中泰阿弥の血縁である柏崎支部笠原造園の社長・笠原豊氏の案内で行つた京都の庭研修に参加しました。そ

の後は各支部持ち回りで会員の作品を見学する研修が行われました。この一回目に行われた上越支部の研修では、当時総務部長をした山本さんが担当した時を懐かしく思い出します。その後見附支部を除く九支部を会場に行われましたが、平成二十五年に行われた佐渡支部を会場とした研修には、怪我で参加できず残念でした。佐渡の天然杉の見学は楽しみにしていた分、とても残念でした。

経営研究部では、一日造園大学と佐渡竹切りツアーに参加しました。一日造園大学の最初の二回は大橋会長の造園に関する話と、宮城県の樹木医・二賀地氏の体験談でした。その後は、新潟薬科大学の先生・白崎仁氏の里山植物観察会が続きまし



た。講師は白崎先生が所属している植物同好会じねんじよ会員の方々にしていただき、主に角田山周辺を会場に行われました。小千谷市に在住する、じねんじよ会員の関省吾氏を講師に小千谷市山寺地区で行われた時は、四月初旬に春の里山植物であるカタクリ、キクザキイチゲ、コシノコバイモなどの植物観察と、昼食時に山菜の天ぷらを楽しみむなどできました。帰りの道すがら、タラの芽を採る事もできました。佐渡竹切りツアーは、大橋元会長と当時の上越支部・布施経営研究部長が始めた事業で、佐渡の竹を切り出す苦労を会員の若手社員に体験してもらう修行と、佐渡の竹を少しでも利用する事を目的としてきました。しかし、切り出した竹の品質は良いものの、規格がそろわず、利用するには制限がありました。今年行われた竹切りツアーで切り出した竹のほとんどは、技能検定の予備講習会の材料として使われています。

私の十八年間の協会での経験の一部は以上です。これからも協会の活動に参加していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

三部会事業活動報告

指導部

平成二十四年度

洗い出し講習会

講習会に参加して

英香園 磯部由紀江

洗い出しの講習会に参加して、洗い出しのポイント、コテ



の使い方、スポンジの使い方を、本職の方から教えていただきました。

なかなか、本職の方から教えていただけることができないので、いい経験になりました。これからも、いろいろな講習会に参加できたらいいと思います。



洗い出し講習会を終えて

英香園 安原 和幸

今回の洗い出し講習会では、左官職人の方々に洗い出しを順を追ってわかりやすく教えていただきました。コテの使い方など基礎的な事や木ゴテや金ゴテの使い方など初めて知った事ばかりで、勉強になりました。今回習った事を仕事に生かしていきたいと思っています。



平成二十七年 度

冬季講習会

ワイヤーとロープのへび口作り

三条支部 石川 昌弘

ワイヤーとロープのへび口作り講習を保内の松造園さんの長谷川稔さんを講師に迎え参加者三十二名で講習を行いました。

日頃から使うワイヤーとロープですが、両端の輪っかの構造や作り方など考えてはみるものモノをほどこいたり、分解するまでには至らず、わからないま



までいました。
ワイヤー両端の輪っか作りですが二分して両方から反射側のワイヤーにからめ直して輪を作ります。その後二分していない部分に差し込み完了となりますが、講習も分かりやすく納得して帰ることができました。



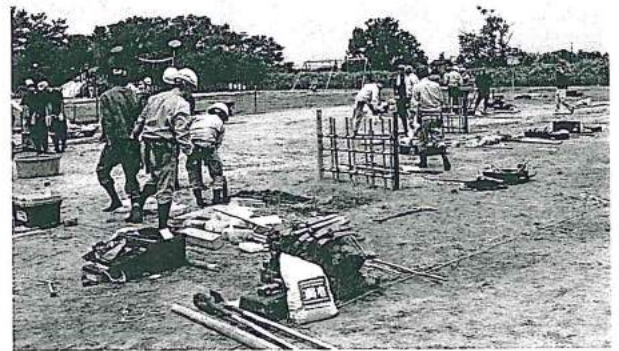
予備講習会の講師は、一級・二級とも二名で構成され、今年春に、東京で行われた技能検定講師講習会に二名参加、講師陣のレベルアップにつなげています。

保内造園組合と新潟県造園建設業協会は、技能検定試験協議会を立ち上げ、技能検定予備講習会(実技)を二回行っていきます。指導部が検定準備を受け持っています。

平成二十七年 技能検定予備講習会

前指導部長 内山 元雄

予備講習会では、一回目四〜五名、二回目二〜三名で一作品を作り、作庭の手順、時間配分、結束の仕方等々を指導。要素に於いては、保内造園組合の方々から準備いただき、全員が合格できる様に、真夏の暑い中、受験生と共に頑張っています。指導部では、今後も予備講習会の在り方を考えていきたいと思えます。



株式会社 ホーネンアグリ®

〒949-5414 新潟県長岡市飯塚1986番地
TEL(0258)92-3890(代) FAX(0258)92-3350
E-mail:honen@honenagri.com

www.honenagri.com

Made in 新潟 新規登録商品

モミライト

スーパー緑の堆肥1号

植栽用、土壌改良材、吹付け基盤材としてご好評いただいております。お気軽にお問合せください。

●登録番号: 28D1007 ●技術名称: モミガラ・食品工業汚泥等を堆肥化した発酵肥料



経営研究部

平成二十五年年度

佐渡の風土に触れる旅

佐渡支部 松木 博明

今回の一日造園大学は離島という特殊な環境のもと行われるということもあり、一泊二日の行程にも関わらず十人を超す多

数の参加者のもと開催されました。

旅の目的は、佐渡の風土とその生立ちを五感で感じてもらう事でした。

その第一が『大佐渡石名天然杉』です、この杉は樹齢二百〇四百年と云われるのにもかかわ

らず、地を這い、

寄り添い合い、ま

るで何者かに意図

的に作られたかの

ように変形してし

まった樹形は、佐

渡の自然の厳し

さがいかに凄いも

のかを物言わぬ樹

木たちに教えても

らった気がします。

第二に『佐渡金山』

山』です、徳川幕

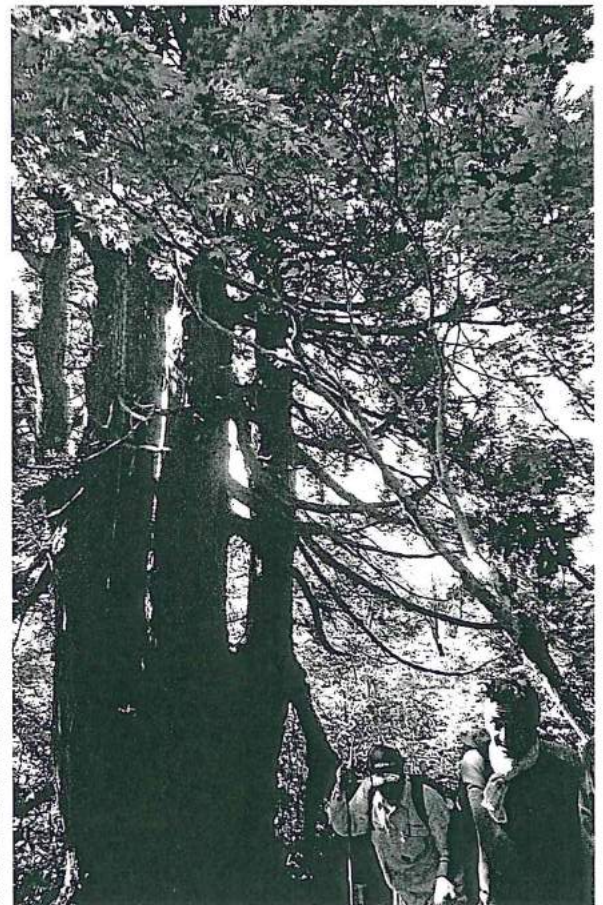
府の財政を支え黄

金の国ジパングと

世界に知らしめる

ほどの金の産出を

誇ったのがこの金



山です。坑道の延長が約四百キロメートルと、佐渡から東京までの距離に匹敵するほどの距離と海面よりもさらに下まで伸びる坑道、そのどれをとっても当時国内外でも最高水準の技術が、この佐渡の中で使われていたことは、我々佐渡に住むものとしては誇りであり、あの暗く寒い坑道の中で当時の偉大さや辛さなどを感じてもらったのではないのでしょうか。

第三に『国際保護鳥トキ』です。一時は絶滅にまで瀕したトキが今や百羽を超えるまでに回



復し、日々大空を舞う姿を見るまでとなりました。これも離島という特異な環境とその自然を守り続けてきた島の人があつてこそと思われれます。今度の教室(旅)はこの『人と自然との共存』がいかに大事であるかを五感で感じてもらえたのではないかと思います。

平成二十六年度

一日造園大学

新発田支部 長谷川 諭

平成二十六年六月二十八日、鉦を使った竹割り・竹の肉剥ぎ、そして竹を使った枝折り戸の作成を、講師に遠藤庭園創作所の遠藤社長を迎え、当協会で開催されました。

今日あまり携わることの少なくなった竹材の細工ということもあり、多数の会員の皆様に参加いただきました。

天候にも恵まれ暑い日差しの中、まずは講師の巧みな鉦使いの実演を皆食い入るように見学した後、個々で竹割り作業を始めました。

初めはなかなか思うように竹が割れず、講師に質問したり、会員同士で聞きあつたりと試行錯誤を重ねながら賑やかに作業が進み、時間が経つにつれコツを掴んだ会員、まだまだな会員と差はあるものの、黙々と竹を割り続け、幅二〜三ミリ・厚み一ミリ弱・長さ三〜四メートルの平竹ひごを完成させた会員も



いました。
最後に、作った平竹ひごを使
い講師が枝折り戸の作成方法を
実演し、終了しました。
まだまだ竹を割り続けたいと
思う有意義な一日造園大学でし
た。

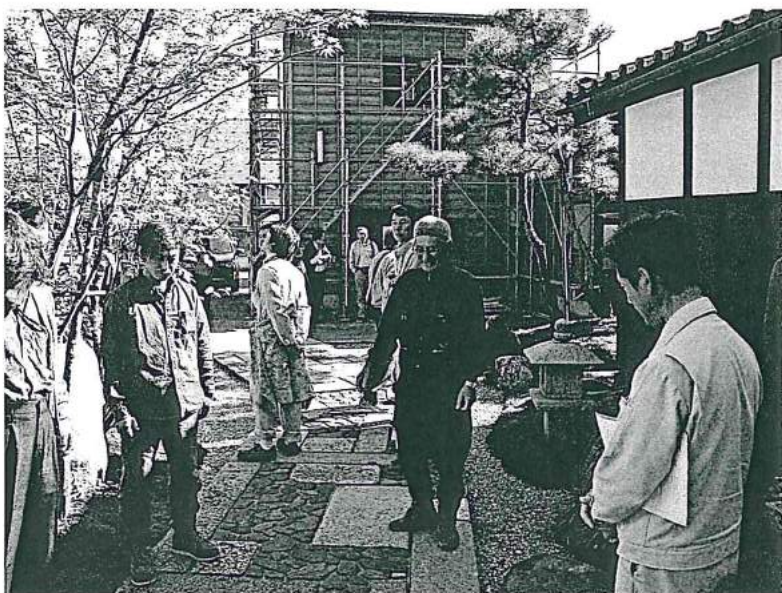
この一日造園大学で使用した
竹は佐渡竹切りツアーで切り出
した竹です。また二月に佐渡竹
切りツアーを計画していますの
で、多数のご参加をお願いいた
します。

海が有名で山とか
庭のイメージがな
かったのですが、今
回の視察でそれが見
事に破られました。
一日目の池忠造園
様の作庭など石も庭
木も吟味されたもの
が使われていて圧倒
されました。飯塚邸
も表門から、主屋か
ら、庭から、昭和天

十月二十六・二十七の両日、柏
崎支部担当による研修視察が行
われました。一日目は天候に恵
まれ秋晴れの中、見事な紅葉を
愛でる事が出来まし
た。魚沼地域から海
水浴というと柏崎が
近く、子どもを連れ
てよく行ったので
した。

平成二十六年年度
研修視察に参加して
魚沼支部 星 百合子

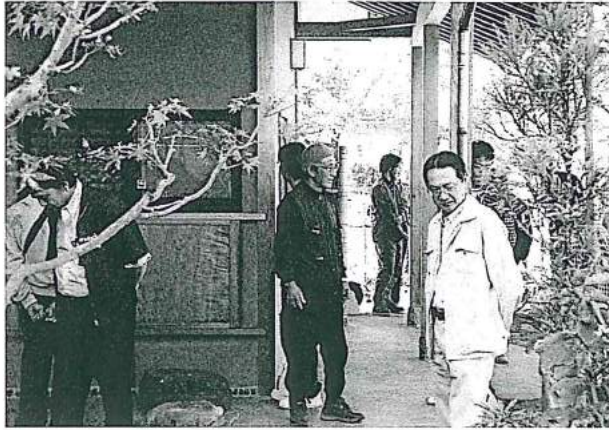
総務部



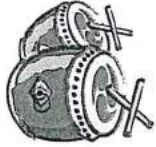
皇から秋幸苑の名を賜った事か
らも推察されます。魚沼から出
たこともなく、雪国の庭に慣れ
親しんだ者としては本当に目を
見張るものでした。豊耀園も自
然の山を背景に作庭され趣のあ
るものでした。
二日目は予報通りの雨になり

私たちは、農業・環境緑化の分野から
地域社会に貢献します。

- | | | | |
|---------------|--|-------------|--|
| ■ 本 社 | 新潟県新発田市島潟203-1
Tel.0254-23-0011(代) Fax.0254-22-1665 | ■ 岩 船 事 業 所 | 新潟県村上市下助淵668-1
Tel.0254-66-7847 Fax.0254-66-7852 |
| ■ 新 発 田 営 業 所 | 新潟県新発田市島潟203-1
Tel.0254-22-4171 Fax.0254-22-1665 | ■ 山 形 営 業 所 | 山形県南陽市蒲生田1375-1
Tel.0238-45-2990 Fax.0238-45-2996 |
| ■ 白 根 営 業 所 | 新潟県新潟市南区七軒160-3
Tel.025-373-1141 Fax.025-373-2496 | ■ グリーンサービス課 | 新潟県新発田市島潟203-1
Tel.0254-23-0011 Fax.0254-22-1665 |



ましたが、貞観園は雨の中にしつとりとしていて、一口に庭などと言っては申し訳ない様なスケールの大ききで木々たちの霊を感じた様な気が致しました。宿での夕食時の日本海太鼓も身近で聞くことなどなかったの
で、とても感動しました。
柏崎地区の皆様ありがとうございました。



支部活動報告

平成二十六年年度

上越支部 岩崎 秀夫

北陸新幹線の開業が迫り、上

越妙高駅・糸魚川駅の建物および周辺が完成・整備されてきました。植栽工事もこれから本格的に進められていく予定になっています。新駅周辺のアクセス道路も拡幅新設され、街の風景・景観が変わり始めています。

上越市は全国でも早くから景観に力を入れてきたそうです。平成十二年に「上越市景観条例」、翌十三年には「上越市景観形成基本計画」、十九年に新たに「上越市景観計画」を策定しました。

木・花や地形と



いった自然の景観とまちなみ・建物の色、デザイン、照明等を改善し「美しいまち」が実現される様にさまざまな取り組み、



私たちは、地域のみなさまに
あたらしい時代の“庭暮らし”を
おとどけいたします。



本社
〒739-0142
広島県東広島市八本松東3丁目1-3
TEL.082-427-1050 FAX.082-427-1052

新潟支店
〒950-2031
新潟県新潟市西区流通センター2丁目2-2
TEL.025-260-5455 FAX.025-260-0638

長岡支店
〒940-0871
新潟県長岡市北陽2丁目14-25
TEL.0258-86-6091 FAX.0258-86-6092



活動がなされています。その一環でこの度、景観協議会が設立され、当支部からも一人委員として参加しております。

上越市安塚区(旧安塚町)が重点地域とされており。安塚地区は昭和六十年に花いっぱい運動をスタートして以来、様々

な取り組みを行い、全国花まちづくりコンクールで全国一位を獲得もしています。長年取り組んできた柳葉ヒマワリが十月見ごろとなり、景観セミナーが十月四日実施されました。町のいたるところに咲く黄金の花は景観に活力、可能性を与えているように思えます。

景観づくりに携わる業種の者としてお客様、人々に私たちも力、喜び、感動を届けていきたいと思うところです。



平成二十六年度

長岡支部 佐藤富士夫

●五月三十一日

長岡市花いっぱいフェア

庭造り提案コーナー

しゅろバツタ作成体験

●六月一日

全国植樹祭

県造協ブースお手伝い

●六月二十六日

悠久山公園剪定奉仕

ツツジ類刈り込み剪定

親睦会兼慰労会

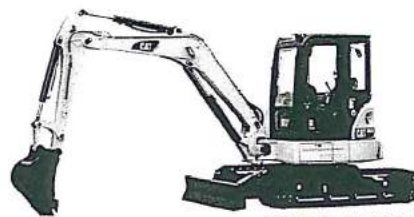


**様々な現場に
使いやすさで
サポート**

**日本キャタピラー
中日本支社**

新潟支店 TEL.025-266-9171
長岡支店 TEL.0258-92-6111

CATERPILLAR,Caterpillar,CAT,Cat及びACERTIはCaterpillar Inc.の登録商標です。



写真はオプションを含みます

305.5E2CR キャブ標準仕様	
機械質量	5,170kg
標準バケット容量	0.16㎡
エンジン定格出力	32.9kw

詳しくは弊社Webサイトへ

日本キャタピラー 検索



価値ある信頼、想いはひとつ

日本キャタピラー CAT

技能検定

平成25年度技能検定合格者

2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科	実技	総合	学科	実技	総合			
57名	63名	64名	14名	26名	26名			
50名	49名	48名	9名	12名	11名			
87.7%	77.8%	75.0%	64.3%	46.2%	42.3%			

※ これは全体の合格率です。

予備講習会受講者合格率

2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科のみ	実技のみ	総合	学科のみ	実技のみ	総合			
2名	0名	21名 (学科0名・実技0名)	6名	1名	10名 (学科0名・実技7名)			
		25名	24名	23名	24名			
		21名	21名	23名	11名			
		84.0%	95.8%	75.0%	45.8%			

平成25年度技能検定試験合格者

1級 総合

長岡支部

(株)宝グリーン

(有)万松園

三条支部

(有)西片植木園

柏崎支部

笠原造園

尾崎造園

上越支部

(株)英香園

(有)滝本造園

(有)北陸園芸

2級 総合

長岡支部

竹見造園

吉茂造園(株)

(有)小林悠久造園

上越支部

丸山隆光園

(有)秀造園

佐藤 義孝

長橋 正宇

富田 浩二

目黒 昭久

石坂 裕介

萩原 卓也

小林 慎一

加茂川 佑樹

北村 一成

平成26年度技能検定試験合格者

2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科のみ	実技のみ	総合	学科のみ	実技のみ	総合			
1名	1名	12名 (学科0名・実技0名)	4名	0名	5名 (学科0名・実技2名)			
		16名	15名	11名	16名			
		13名	11名	11名	5名			
		81.2%	73.3%	77.8%	31.2%			



平成26年度技能検定合格率

2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科	実技	総合	学科	実技	総合			
37名	39名	40名	18名	23名	25名			
30名	26名	26名	15名	5名	6名			
81.1%	66.7%	65.0%	83.3%	21.7%	24.0%			

※ これは全体の合格率です。

予備講習会受講者合格率

2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科のみ	実技のみ	総合	学科のみ	実技のみ	総合			
1名	1名	12名 (学科0名・実技0名)	4名	0名	5名 (学科0名・実技2名)			
		16名	15名	11名	16名			
		13名	11名	11名	5名			
		81.2%	73.3%	77.8%	31.2%			

1級 総合

新津支部

(有)新光園

三条支部

(有)笠原造園

上越支部

(株)英香園

(有)秀造園

1級 学科

長岡支部

(有)万松園

丸山 俊 (1位)

丸山 俊 (1位)

笠原 隆司

中野 敬介

竹内 昭一

吉岡 浩司

- 柏崎支部 (株)池忠造園 玉田 健二
- 上越支部 (有)秀造園 岩崎 光紀
- 2級 総合 北川 英二
- 2級 学科 泉 里帆子
- 上越支部 (有)岩崎造園 霜鳥 郁夫
- 2級 総合 渡邊 哲
- 2級 学科 岩崎祐太
- 上越支部 (株)旅人木 石月 浩一
- 2級 総合 三條支部 閔庭苑 石月 浩一
- 新潟支部 (株)真緑 宮口 芳久
- 三條支部 (有)グリーン造景企画 佐野 泰介
- 長岡支部 竹見造園 小熊 基
- (有)銀山造園 田中 瞬
- 魚沼支部 新保造園(株) 中林 勝之
- 柏崎支部 (有)五十嵐造園 眞鍋 晋

2級			1級			受講人数	合格人数	合格率
学科のみ	実技のみ	総合	学科のみ	実技のみ	総合			
2名	1名	12名 (学科0名・実技1名)	9名	0名	12名 (学科0名・実技5名)	28名	17名	
						12名	14名	
						42.9%	82.4%	
								72.2%
								77.8%

予備講習会受講者合格率

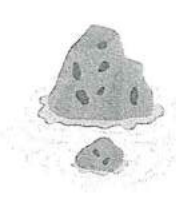
※これは全体の合格率です。

3級			2級			1級			申請人数	合格人数	合格率
学科	実技	総合	学科	実技	総合	学科	実技	総合			
39名	39名	40名	24名	28名	29名	21名	36名	36名			
33名	33名	34名	19名	20名	19名	17名	14名	14名			
84.6%	84.6%	85.0%	79.2%	71.4%	65.5%	81.1%	38.8%	38.8%			

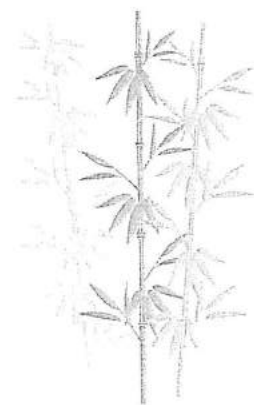
平成27年度技能検定合格率

- 1級 総合 長岡支部 (有)室橋造園 室橋 拓弥
- 1級 総合 (有)万松園 吉岡 浩司
- 魚沼支部 (株)星造園 星 雄太
- 柏崎支部 (株)池忠造園 玉田 健二
- 上越支部 (有)秀造園 岩崎 祐大
- 1級 学科 新津支部 (有)大貫造園 大石 朝美
- 三條支部 内山造園 熊田 義弘
- 柏崎支部 (有)五十嵐造園 眞鍋 晋
- (株)池忠造園 渡部 薫
- 上越支部 造園フルカワ 梨本 達昭

平成27年度技能検定試験合格者



- 2級 総合 新潟支部 (株)若杉造園 阿部 幸治 (2位)
- 長岡支部 吉茂造園(株) 久住やよい
- (株)長岡ガーデン 高橋 瞭介
- 魚沼支部 (株)星造園 佐藤 和裕
- 上越支部 (株)青花園 加藤 雄太
- ニッカ興産(株) 古川 秀二
- 2級 学科 新津支部 (有)新光園 吉川あすか
- 2級 実技 上越支部 (株)英香園 塚田 混大



あいさつ

事務局長 篠田和男

昨年の四月から事務局長としてお世話になっております篠田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

私は小千谷市出身です。遠方に魚沼三山、信濃川を挟んで対岸には山本山などの山々に囲まれ、緑の多い自然豊かな環境の中で育ちましたので、今でも密集市街地より郊外の方が落ち着きます。

さて、協会を取り巻く状況ですが、公共事業では今後の新たな大規模公園の整備予定はなく、長寿命化対策などの維持管理の方へシフトしていくようです。しかし、緑化の推進はヒートアイランド対策、生態系の維持などの環境、都市景観、健康・癒し、防災など様々な効果・効用が期待できますので、さらに緑化をPRしていくことが重要と思っております。

近年、少子高齢化の進展や核家族世帯の増加の影響が住宅地の空き家対策が課題になってい

ます。

先日、新潟市の住環境政策課から協会に依頼がありました。市内の空き家の庭木の枝が伸び道路交通等の支障になり、付近の住民から苦情が寄せられている。市外に住む息子さんを探し事情を説明したら、処理をしたので近くの造園業者を紹介して欲しいという内容でした。

この事例では息子さんがたまに近隣の市町村に住んでいたので、現地立会いや委託内容の確認もでき、トラブルもなく、作業が終了したと造園業者さんから連絡がありました。

県内各地で今後もこのようなことが増えていくことが考えられ、会員の皆様にご相談することもあると思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



お知らせ

ビデオ

「造園の技法」がDVDで復刻

本部で3巻セットを2セット購入しましたので、会員に貸出します。希望者は、事務局(片桐)まで申込み願います。



編集後記

平成二十五年七月一日(第69号)、平成二十五年十月十四日(設立40周年記念号・第70号)以来の久々の発行となりました。本号(第71号)は、今年度新会長が選出されたこともあり、新旧会長、新事務局長のご挨拶と、今までに執筆いただいた原稿を中心とした編集になっております。

二年間未発行となりましたことをお詫び申し上げますとともに、今後の「県造協だより」の充実を図るため、会員各位のご協力を切にお願い申し上げます。

総務部長(上越支部長)

長澤 政廣